

当院および以下の機関で脳主幹動脈閉塞による脳梗塞で入院治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2011 年 1 月～2024 年 3 月の間に、発症早期の脳主幹動脈閉塞による脳梗塞で入院治療を受けられた方

【研究課題名】脳主幹動脈閉塞患者における早期・遅発てんかん発症因子および予後に関する多機関後方視的観察研究

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 脳神経内科 部長 猪原 匡史

【研究の目的・意義】

この研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、脳の主要な血管が閉塞し脳梗塞となった患者さんのてんかん合併率を明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、将来的に早期に治療介入することにより、予後の改善に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】

診療情報：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、家族歴、飲酒歴、喫煙歴、身体所見、血液検査結果（血球数、蛋白、アルブミン、電解質、肝機能、腎機能、炎症反応、凝固能、脂質代謝、血糖、HbA1c、BNP）、CT 画像、MRI 画像、脳波所見、神経学的所見、高次脳機能検査、脳血流シンチグラフィー、早期・遅発発作の有無・出現日・症状、治療内容と治療反応性、臨床経過、機能転帰。

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【研究の実施体制】

この研究の実施体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター 脳神経内科 部長 猪原匡史

共同研究機関・研究責任者

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科 医長 吉村元

【外部機関への情報等の提供】

この研究で収集した情報を、以下の機関に提供し、解析を行います。提供する際は、あなたのお名前等は削除し、個人を直接特定できないようにします。

機関名：国立循環器病研究センター

研究責任者：脳神経内科 猪原匡史

提供方法：パスワードのついた仮名化された情報ファイルを用いた電子的配信を行う。

【研究期間】研究許可日より2029年3月31日まで（予定）

情報の利用または提供を開始する予定日：2024年7月14日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 脳神経内科

部長 猪原 匡史

医師 阿部 宗一郎

電話 06-6170-1070